

2019年も残りわずかとなりました。元号が「平成」から「令和」に代わり、新しい時代の幕開けを実感するとともに、自然災害の脅威を改めて実感するなど、記憶に残る一年だったと感じています。来年はいよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。一流のアスリートを目の当たりにする貴重な機会であるとともに、各国から来日される多くの方々に、鉄道をはじめとする日本のさまざまな技術に触れていただく機会になればと願っています。

今月号の特集は“コンピューター利用システム”をキーワー

ドとして、鉄道の安全・安定輸送を支えている、座席予約、出改札、列車の運行管理・制御などの大規模なシステムを中心に、技術開発段階における取り組みについて紹介しました。現代の鉄道の仕組みの基となる、システムの開発のきっかけや歴史などを知る一助になれば幸いです。

次号では「安全・安心な鉄道」をキーワードに、自動車輸送・船舶輸送・航空機輸送などほかの交通機関における安全・安心への取り組みを紹介し、より安全かつ安心な鉄道の実現に向けた最近の研究開発動向を紹介します。どうぞご期待ください。(K. T.)